



まだ誰も知らない安心を、ともに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

**自然資本や生物多様性の保全・回復に貢献する当社商品・サービスの拡充について
～ドライブレコーダーの動物注意アラート機能拡充とロードキル削減取り組みの支援～**

2022年6月14日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は6月より、自然資本^{※1}や生物多様性の保全・回復に貢献する取り組みの一環として、「タフ・見守るクルマの保険プラス（ドラレコ型）」などのドライブレコーダー提供型の自動車保険^{※2}における「動物注意アラート機能」をバージョンアップするとともに、希少動物保護やロードキル削減に取り組む団体への寄付活動など支援を行っていきます。

※1 自然環境を国民の生活や企業の経営基盤を支える重要な資本の一つとして捉える考え方

※2 ドライブレコーダーによる事故発生の通知等に関する特約がセットされた自動車保険が対象

1. 背景・目的

気候変動リスクの増大により、脱炭素化をはじめとする気候変動対策の推進とビジネスモデル転換の機運が急速に高まっており、自然資本や生物多様性の保全・回復に関する国際的な論議^{※3}も急速に進んでいます。こうした動きを踏まえ、当社はこれまでも、各地域のNPOや地方公共団体等への寄付を行うことで、地域に根差した環境保護活動を支援してきました。

今般、自然資本や生物多様性に関連する商品・サービスの開発と提供を加速させ、新たな収益基盤の確立と地球環境との共生（Planetary Health）を目指し、希少動物の轢死（以下、「ロードキル」）防止に向けた取り組みを拡充することとしました。

※3 国連生物多様性条約第15回締約国会議（CBD COP15）、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）、等

2. 概要**(1) 自動車保険の専用ドライブレコーダーにおける動物注意アラート機能のバージョンアップ**

当社の自動車保険の専用ドライブレコーダーでは「動物注意アラート」をご提供しており、希少動物が生息する地域に接近した場合に、注意して運転いただくようドライバーにお知らせしています。

2022年6月末に、下表のとおり対象地域・動物の拡大を予定しています。これにより、より広い範囲・動物でロードキルを防止することで、生物多様性の維持を図ります。

<動物注意アラート機能の対象地域と対象動物>

対象地域	対象動物	
沖縄県	ヤンバルクイナ	
沖縄県	イリオモテヤマネコ	
奈良県	奈良公園のシカ	
鹿児島県	アマミノクロウサギ	
長崎県	ツシマヤマネコ	
北海道	エゾシカ	
長崎県	ツシマヤマネコ（アラート対象エリアの拡大）	New !
秋田県	ツキノワグマ	

(2) 希少動物保護やロードキル削減に取り組む団体への支援

生物多様性の確保を通じて地球環境の保護を図るため、以下の通り寄付制度を拡充します。

	寄付の要件	寄付先
従来	保険のご契約時にお客さまが「web 約款」もしくは「ペーパーレス証券」を選択	各地域の NPO や地方公共団体など
新たな取り組み	ドライブレコーダー提供型自動車保険の販売実績	希少動物保護やロードキル削減に取り組む団体（2022 年度内に拡充予定）

3. 今後の展開

今後も森林・水・土壌といった領域において、事故により毀損した自然資本や生物多様性の保全・回復に必要な費用を補償する商品・サービスを提供し CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）※4を通じて社会・地域課題の解決に貢献していきます。

※4 CSV・・・Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX・・・Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組みます。

